あさのちゃんねる

医療法人社団　浅ノ川
浅ノ川総合病院 広報誌　2013年8月号（年4回発行）

イメージキャラクター
あさのちゃん

夏本番！
水分補給を
忘れずに！

地域の皆様へ ～浅ノ川総合病院 看護師の貢献～

副病院長 兼 看護部長　中瀬　美恵子

「看護師はどうあるべきか、地域の皆様にどのような貢献ができるのか」を常に私は考えます。今や超高齢化が現実のものとなり、2025年に後期高齢者人口がピークを迎えると言われています。「あと12年しかないのです。あなたはいったいいくつになっているのでしょう？その時あなたは何をしているのでしょう？」と各看護師によく問いかけています。

看護職が活躍しなければならない場は、今以上に広がりを見せてくることでしょう。予防の分野である保健、我々の働く現場である病院、そして今注目の福祉分野です。

治す医療から暮らしを支える医療への転換時期は、今しかないのです。病院で働く看護師も働いている目標を大きく転換する時期が来ています。しかし、変化のスピードになかなかついていけていない現状に、現場は戸惑いを感じていることも事実です。高齢者が入院される時、元々の病気を抱え更にそれが悪くなったり、別の病気が上乗せすることが多く、認知症においては予測をはるかに上回る増加率を呈しています。

このような現状において、私たち浅ノ川総合病院で働く看護師は、患者様の最も辛い時期に寄り添い、本人自身の治癒力を高める援助をしています。出来る限り早い時期に、社会へ戻ることができるような支援を心がけています。また、病院で最期を迎えなければならない方々の苦痛を和らげ、かたわらに寄り添います。住み慣れた家での最期を迎えたい方々には、訪問看護師がご自宅へ出向き、援助をさせていただいております。もちろん生活に不安がある人が、退院後にご自宅で過ごされる場合にも様々なお手伝いを訪問看護師はさせていただきます。入院から在宅までの切れ目のない看護をめざし、安心して地域の方々が暮らしを営めるよう、当院の看護師は日夜看護をさせていただきます。

地域の方々に「浅ノ川総合病院があって良かった。浅ノ川総合病院の看護を受けて良かった。」と思われるおもてなしを職員一丸となって心がけていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

病院の理念

「皆様の信頼を得る、思いやりのある医療を提供します。」

病院の方針

1. 新しい知識と技術を身に付け、質の高い医療を提供します。
2. 患者の皆様にやさしい、活気にあふれる病院を目指します。
3. インフォームドコンセント（説明と同意）に基づいた治療を行います。
4. 地域の医療機関との連携を深め、地域医療の充実に貢献します。
5. 安全性を考え、責任の持てる医療を提供します。

熱中症対策について

内科　部長　髙﨑　秀昭

今年は梅雨入りと同時に連日暑い日が続いております。さらに今夏は、昨年を上回る猛暑も予報されており、すでに各地で熱中症により救急搬送されたというニュースが報道されています。このため、環境省からは、熱中症に対するパンフレットが配布され、啓蒙活動も広く行われています。今回は、熱中症対策について、見逃されやすい注意点を中心にお話したいと思います。

まず、水分補給についてです。充分な水分を摂取する必要があるのは、言うまでもありませんが、その際、塩分もしっかり補充していただきたいという点です。体温の冷却に不可欠な発汗の際、汗腺から水分を体表に引っ張り上げ汗として皮膚に出す役目を担っているのが、この塩分（ナトリウム）なのです。この為、十分な汗を作るためには、塩分を夏場は特にしっかりと摂取していただきたいと思います。

また、摂取する飲料水の内容によっては、思わぬ病気を引き起こすことがあります。喉が渇くからといって糖分を多く含んだジュースなどを多飲すると、急激に血糖が上昇し、意識が無くなったり、時には死亡するといったことも報告されています。ペットボトル症候群や清涼飲料水ケトーシスという呼称で近年問題となっているこれらの病態は、普段健康な人でも罹患する可能性がありますので十分な注意が必要です。

せっかく、汗をかいても皮膚の表面が湿っていては気化する作用が低下してしまいます。このため、こまめに汗を拭いたり、時には下着を取り替えるなどの対策も必要です。さらに、発汗に関しては、皮膚からの熱の放散という観点からは、湿度に対する対策も重要なポイントになってきます。高温対策だけではなく、換気等による湿度の調節にも留意していただきたいと思います。

熱中症は決して怖い病気ではありません。しかし、一度対策を誤ると致死的経過をたどる危険性があることも事実です。節電が叫ばれている昨今、正しい対策と対処でこの猛暑を乗り切りたいものです。

※環境省パンフレットから抜粋

部門紹介 栄養部

患者様にとって適切な栄養管理、食事提供を行えるよう安心・安全を心がけています。

現在、栄養部には管理栄養士６名と栄養士１名が勤務しています。給食委託会社とも協力し、患者様の楽しみである食事を患者様の立場にたって提供できるよう日々努力しております。また、退院後も適切な食事を継続していただくために、病室を訪問し、食事に関する相談や情報提供も行っております。

栄養部の主な業務

食事提供

患者様一人ひとりの病態に合わせた食事を提供しています。また旬の食材を使用し、行事食の提供も行っております。入院中は「食事だけが楽しみ」との声を良く耳にします。食事が苦にならないよう嗜好調査、残食調査、献立検討会を実施し献立に反映しております。

栄養管理

入院時に栄養管理計画書を作成し、栄養状態を評価します。病室訪問を行い、必要に応じて食事内容や形態を変更し栄養状態の改善を目指します。
医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士、理学療法士、管理栄養士がそれぞれの専門性を活かして患者様の栄養サポートを行う NST 回診・カンファレンス、摂食・嚥下回診等のチーム医療にも取り組んでおります。

栄養指導

医師の指示に基づいた栄養指導を入院、外来患者様を対象に行っています。食事療法に関心を持っていただけるよう、患者様の日常を考慮した実践しやすい食事のとり方や工夫の提案を心がけています。外来での糖尿病教室にもぜひご参加下さい。

「おいしいね！」

栄養部　管理栄養士　西田雅美

私達、栄養部にとって一番うれしいのは「おいしいね！」という声。自然と笑顔がこぼれます。しかし食事も治療の一環。疾患による制限のため場合によっては食事を苦痛と感じる患者様もいらっしゃいます。食べたいけど、食べられないでは治療にはなりません。患者様との関わりで食べられない理由を見つけたり、他職種からの情報を得たりと患者様の笑顔が見られるよう日々頑張っています。食事に関する事は気軽に栄養士にご相談下さい。

食事・栄養について質問や不明な点などございましたら、当院栄養部までお気軽にお問い合わせ下さい。

産科センターからのお知らせ

気持ちいいな　ベビーマッサージ

産科センターでは、ベビーマッサージを行っています。
ベビーマッサージは、赤ちゃんの

1. 消化機能を高める
2. 脳の発達を促す
3. 夜泣きが少なくなる
4. リラックスする

など様々な効果があると言われています。
さらに、母子のスキンシップを通して母親が育児に自信を持ち、
子育てが楽しくなるという愛情連鎖が親子の絆を深めてくれます。
当院で生まれた赤ちゃんとお母さんの同窓会のようで、毎回好評です。
スタッフも成長した赤ちゃんとお母さんに会うのを楽しみにしています。

対象 当院で出産された生後３～４カ月の赤ちゃんとそのお母さん
日時 毎月第４金曜日、14 時～
場所 ファミリールーム
講師 当院助産師（ロイヤルセラピスト協会認定スタッフ８名）

お問い合わせ先は当院産科センターまで

新入職員紹介　NEW FACE

今年、各部に配属された
フレッシュなメンバーを
順番に紹介します！
今回は看護部から2名を
紹介します！！

職　種：看護師
配属先：手術室

森（もり）　隆平（りゅうへい）

Q1 ご自身の長所を教えてください。
身長が大きく、気が長いです。

Q2 座右の銘を教えてください。
万里一空

Q3 今後の抱負を教えてください。
早く患者様のお役に立てるようになりたいです。一つひとつ出来ることを増やしていき、安全で確実な業務を行っていきたいです。

職　種：看護師
配属先：本館5階

池田（いけだ）　真悠（まゆ）

Q1 ご自身の長所を教えてください。
何事も前向きにポジティブに考えます。

Q2 座右の銘を教えてください。
一生懸命

Q3 今後の抱負を教えてください。
これからも前向きに頑張り、看護師としての経験を積んでいきたいです。今よりも笑顔で患者様と接することができる看護師になりたいです。

連携登録医のご紹介

今回は、今年4月に開業された「土原医院」をご紹介いたします。

当院は昭和22年に大樋町で開院し、昭和55年に現理事長が現在の場所に移転しました。平成25年4月に一部改装を行い、院長の私が一般内科と呼吸器内科を、理事長が外科と胃腸外科を専門に診療を行っております。

呼吸器内科医の専門とする疾患は主に気管支、肺に関する病気になります。咳が続く場合や息切れといった症状は呼吸器や循環器の病気に多くみられ、特にタバコが関係する肺がんや慢性閉塞性肺疾患（COPD）、また気管支喘息や間質性肺炎、肺結核など様々な病気が原因となります。これらの診断には、画像検査や肺機能検査が非常に参考になります。当院でもマルチスライスCTと肺機能検査機器を導入し、迅速に対応できるようになりました。より詳細な検査や治療が必要な場合には浅ノ川総合病院と連携して診療にあたっております。

今後も浅ノ川総合病院と協力し、丁寧な診療を心がけ、地域の皆様の健康維持のお手伝いができるよう努めてまいります。

マルチスライス CT

医院全景

［ 院長　土原（つちはら）　一真（かつま）　先生 ］

平成　８年　　金沢医科大学卒業
平成 13 年　　金沢医科大学大学院内科学Ⅰ修了　医学博士
　　金沢医科大学学長賞受賞

研 修 病 院
　金沢医科大学病院（呼吸器内科）、沖縄県立中部病院

病 院 勤 務
　金沢医科大学病院（呼吸器内科）、公立砺波総合病院
　国立療養所七尾病院（現独立行政法人国立病院機構七尾病院）
　公立松任石川中央病院、金沢赤十字病院

平成 16 年４月　金沢医科大学　呼吸器内科学助手（現助教）
平成 20 年８月　金沢医科大学病院　集学的がん治療センター助教（併任）
平成 25 年４月　医療法人社団 一弘会　土原医院院長（現職）

肺がん CT 検診認定機構　認定医師
日本がん治療認定医機構　がん治療認定医
日本呼吸器学会　専門医

土原医院

院　長：土原　一真
診療科：内科、呼吸器内科、外科、胃腸外科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	／
13:30～18:00	○	○	○	○	○	／	／

休診日：土曜午後、日曜・祝日

住所：〒920-0818　石川県金沢市大樋町 8-1
電話：076-252-0471

連携登録医

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して新たに開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

てんかんセンター開設のお知らせ

てんかんは総人口の約1%が罹患している患者数が多い疾患にもかかわらず、北陸地域においてはてんかん学会認定専門医・指導医を擁する医療機関は、当院の他極めて少ないのが現状です。当院ではてんかん診療および教育機能の充実をより一層図るべく、このたび「てんかんセンター」が発足しました。当センターは北陸3県において、てんかんの専門的診断から外科的治療まで実施できる唯一の医療機関です。

<受診案内>

てんかんセンター外来を受診するには、現在通院している医療機関からの診療情報提供書と電話予約が必要です。

行事レポート

「春の健康フェア２０１３」大盛況の中、終了しました。

毎年恒例の「春の健康フェア」が5月17日・18日の2日間、当院で行われ、公開健康講座では、リハビリテーション科 井戸一憲 医長が「脳卒中のリハビリ」と題した講演を行いました。また、身長・体重・体脂肪のほか、骨密度・血圧・血糖値を無料で測定するコーナーも大好評でした。多数のご来場、ありがとうございました。

当院では、このような行事を通じて地域の皆様と交流し、健康について関心を持って頂く場をさらに増やしていきます。今秋には「ふれあい感謝祭」を予定しており、今回同様に皆様が楽しめる企画も検討しています。ご来場を心よりお待ちしております。

定位放射線治療セミナー

溝脇 尚志先生

平成25年5月17日（金）ホテル金沢にて「第5回　定位放射線治療セミナー」が開催されました。北陸・甲信越から多数の参加を賜り、盛況な会となりました。

基調講演は当院脳神経外科部長　光田幸彦医師より「施設共同研究(JLGK0901)からみた多発脳転移に対するガンマナイフ治療の有用性」について話しました。特別講演は京都大学大学院医学研究科准教授　溝脇尚志先生より「脳腫瘍に対する高精度放射線外部照射療法」と題し、脳腫瘍に対する各種放射線療法と実績について話されました。

今後も当院は定位放射線治療の充実と発展に努めていきます。

皆様へのお知らせ

お盆休みのお知らせ

8月15日（木）、16日（金）はお盆休みにつき、外来診療を休診させていただきます。
当日、急患の場合は救急外来で診察させていただきます。事前にお電話にて症状などをお知らせください。
誠に勝手ではございますが、宜しくお願いいたします。

連携登録医の皆様へ

第2回浅ノ川総合病院　地域連携ゴルフコンペ開催のお知らせ

浅ノ川総合病院では、連携登録医の先生方と「顔の見える連携」を推進しており、その一環として浅ノ川総合病院 地域連携ゴルフコンペを開催しております。詳細は当院 地域医療連携室にお問い合わせください。

日時　平成25年11月3日（日）
場所　ゴルフ倶楽部金沢リンクス

編集後記

今年も行ってきました!『金沢城リレーマラソン』
前日の雨が嘘のように、当日は五月晴れそのもので、マラソン日和の気持ち良い一日を過ごせました。参加された皆さん、お疲れ様でした。
夏は暑いのが当たり前ですが、今年は特に暑い気がします。梅雨の時期が出遅れて、湿気がより一層暑さを引き立てているのかもしれません。残暑見舞いを出せる頃になると、もうすぐそこに秋が来ていますが、みなさん夏バテに注意してくださいね。私「あさのちゃん」も体力をつけて、秋のイベントに備えたいと思います!応援メール、残暑見舞い、どちらも待ってま～す!

問い合わせ先
広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。
TEL 076-252-2101（代）　メールアドレス：kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp

発行／編集　医療法人社団 浅ノ川　浅ノ川総合病院　広報室　〒920-8621　石川県金沢市小坂町中83番地　TEL076-252-2101　web http://www.asanogawa-gh.or.jp/　vol.6